



2026 年 1 月 30 日

筑波サステナビリティ・リンク・ローンの契約締結について

筑波銀行（頭取 生田 雅彦）は、栗原紙材株式会社（代表取締役 栗原 護）（以下、当社という）と「筑波サステナビリティ・リンク・ローン」（以下、筑波 S L L という）の契約を締結いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

筑波 S L L は、お客さまの主要な経営戦略と整合した重要業績評価指標（KPI）とその取組目標であるサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（SPTs）を選定・設定し、S P T s の達成状況に応じて、お客さまにインセンティブを発生させ、サステナビリティ経営の高度化を促進するローンです。

筑波銀行は、株式会社格付投資情報センター（R&I）より商品運用（フレームワーク）の第三者評価を取得し、国際的な原則である「サステナビリティ・リンク・ローン原則」および環境省の「サステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」の趣旨に沿った運用を行っております。

記


1. お客さまの概要

企 業 名	栗原紙材株式会社
代 表 者	代表取締役 栗原 護
所 在 地	東京都荒川区
設 立	1967 年 6 月
資 本 金	50 百万円
事 業 内 容	古紙リサイクル事業

2. 契約の概要

契 約 締 結 日	2025 年 12 月 25 日
借 入 金 額	240 百万円
資 金 使 途	運転資金

3. KPI/SPTs の内容

K P I	二酸化炭素排出量 (Scope1, 2) の削減 ※基準値：2025 年度「3,838 トン」
S P T s	2027 年度 3,635 トン (5.4%削減) 2028 年度 3,537 トン (2.7%削減) 2029 年度 3,442 トン (2.7%削減) 2030 年度 3,350 トン (2.7%削減)
KPI 選定の 妥当性	・当社は、環境管理システムの枠組みに沿って、環境問題に対する目的・目標設定と定期的な見直しを行い、環境負荷低減に努めている。2008 年 6 月には、環境省が策定した日本独自の環境マネジメントシステム「エコアクション 21」を取得し、二酸化炭素排出量の削減に向けた取り組みを積極的に進めている。
SPTs 設定の 妥当性	・日本の NDC 目標「2030 年度 46%削減(2013 年度対比)」から算出された年平均削減率「2.7%」を基に本 SPTs を設定
主な SDGs 項目	13 気候変動に具体的な対策を 

筑波銀行は、お客さまのサステナビリティ経営への伴走支援に取り組み、SDGs の目指す「持続的で多様性と包摂性のある社会の実現」に向けて、地域になくてはならない銀行として、地域社会の持続的発展に貢献してまいります。

以上

報道機関のお問合せ先
筑波銀行 総合企画部 IR・広報室
TEL 029-859-8111